

消費税増税に伴う診療報酬改定が国立大学病院に与える影響と今後の取組について、2020年の『臨床研修の到達目標』見直しに対応した臨床研修評価システム『新EPOC』の開発について

2019年12月13日（金）、2019年度第4回常置委員会が開催され、その中で討議された内容を中心に、2019年度第4回常置委員会定例記者会見で報告させていただきました。第4回定例記者会見では、「消費税増税に伴う診療報酬改定が国立大学病院に与える影響と今後の取組」について、そして「2020年の『臨床研修の到達目標』見直しに対応した臨床研修評価システム『新EPOC』の開発」についてご報告しました。それぞれのテーマに関する発表内容をご紹介します。

診療報酬改定の影響と今後の取組～10月診療分に対する消費税補填状況の検証

2019年10月1日より消費税率が10%に引き上げられました。国立大学病院長会議では、消費税増税後の診療報酬改定の影響と、増税後の消費税補填状況を検証するために、42国立大学病院の10月1か月分の診療報酬請求データを基に計算しました。その結果、消費税5%から10%部分の補填率は、42病院全体で105.6%でした。この結果は、近年の増収減益により設備投資が進まず、投資経費（減価償却費）が年々減少（平成30年度減価償却費：約1,100億円）する中で、かろうじて補填されている状況です。今後は、これまで先送りしていた本来必要な投資を行うこととなるため、その結果として補填率が下がり、100%を切ることも考えられます。さらに補填率を病院別に検証すると、補填差額が▲900万円の病院から、+1,200万円の病院まで、かなりのバラつきが生じており、現行の補填方法では、病院ごとの補填差額のバラつきを解消するには、限界があると言えます。なお、今回の検証結果は、今年10月、1か月分のみ調査であるため、月によって上下動する可能性があります。そこで国立大学病院長会議では、引き続き増税後の診療報酬改定の影響を調査し、それを基に厚生労働省とも協力しながら、より精緻な補填の方法を検証していきます。

診療報酬改定の影響と今後の取組～償還材料等の価格交渉への影響

また償還材料等の価格交渉への影響についてご報告します。厚生労働省では、2019年（令和元年）10月1日適用の新償還価格の算定方法について、「今回改定での薬価・材料価格の引上げ分は、基本的に医療機関等が仕入時に負担する消費税分の補填である」と説明され、薬価・材料価格に関しては、「市場実勢価格（消費税8%分を含む）に消費税2%を上乗せ」と公表されています。しかし、各大学でのメーカーとの交渉では、消費税の適切な転嫁の分を超える価格提示がされている事例が確認されており、現在複数の国立大学病院で取引先メーカーからヒアリングを行い、不適切な価格設定と思われる事例に関しては是正を勧告していく予定です。

2020年『臨床研修の到達目標』見直しに対応した臨床研修評価システム『新 EPOC』の開発について

2020年4月より、臨床研修制度が大幅に改定されることが厚生労働省より発表されています。今回の大きな改定には「卒後臨床研修評価システム」があり、これに合わせて、2004年の臨床研修制度発足時から研修医の50～70%に利用されてきたオンライン卒後臨床研修評価システムの「EPOC (Evaluation system of Postgraduate Clinical training:エポック)」を、大幅にリニューアルし、オンライン臨床教育評価システム「EPOC2 (E-Portfolio of Clinical training:エポック ツー)」として、2020年4月より本運用を開始します。「EPOC」、「EPOC2」を開発したのは、国立大学病院長会議の元で運営されているネットワークサービス「大学病院医療情報ネットワークセンター (University Hospital Medical Information Network (UMIN) Center:UMIN Center:ユーミン センター、協議会長 松村泰志)」です。2020年4月にリニューアルする「EPOC2」の特色は、①厚生労働省の施行通知（医師臨床研修ガイドライン）に準拠していること、②スマホやタブレットなどの携帯端末での入力を可能にしたことです。これによって、臨床研修の評価方法の標準化と項目の簡素化が実現し、登録の負担が軽減できます。さらに、2021年からは卒前臨床実習でも利用可能となるため、文部科学省所管の卒前臨床実習と、厚生労働省所管の卒後臨床研修の評価を、「EPOC2」を用いて一元管理することができ、卒前卒後のシームレスな連携によって、重複のない効率的な実習・研修の提供が可能になり、基本的な診療能力が早期から習得可能となります。「EPOC2」の導入によって、研修医、指導医等の評価・管理などの事務的な作業負担が軽減され、いわゆる「評価疲れ軽減」、ひいては「医療職の働き方改革」にも寄与すると考えられます。また、「EPOC2」では、研修到達度の全国平均も参照できるため、基本的な診療能力習得の均てん化・効率化が実現され、高齢化に対応した医師の診療能力の基盤形成に貢献することが期待されます。

* UMIN センターは、大学病院業務（診療・研究・教育・研究）、及び医学・生物学研究者の研究教育活動の支援を目的としてサービスを行っている全国42の国立大学病院が加入するネットワーク組織で、1988年に設立され、オフィスは東京大学医学部附属病院内（東京都文京区）にあります。

UMIN センター ホームページ <https://www.umin.ac.jp/>

* 「EPOC2」に関する詳細な記者説明会を、2020年1月20日午後5時半に東京医科歯科大学（東京都文京区）で開催予定です。

.....

国立大学病院長会議とは…

国立大学病院長会議は、国立大学附属病院、国立大学医学部附属病院（医学部・歯学部附属病院を含む）、国立大学歯学部附属病院、国立大学附置研究所附属病院の42大学45病院が会員として参加している組織です。

.....

本件に関する問い合わせ先、さらに詳しい資料が必要な場合は…

国立大学病院長会議広報担当 宇山 TEL：070-2632-3096 k-uyama.adm@tmd.ac.jp